

田代 瞬

Tashiro Shun

税務職員 2019年採用

八幡税務署 資産課税部門

手厚い研修制度

出会えた同期に感謝

Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

私は資産課税部門に所属しており、相続税や贈与税、資産の譲渡に係る所得税の調査等を行っています。一般的に、私の担当する税目は、初めて申告される納税者の方が多く、申告相談においては、分かりやすい言葉で説明をすることを心掛けています。調査においては、納税者の方や関係先への聞き取り調査や取引銀行への調査等を行い、適正かつ公平な課税に努めています。調査や申告相談等には、様々な専門知識が必要となるため、初めは不安や戸惑いもありましたが、今は、職場の上司や先輩方のご指導の下、自分自身が日々成長できていることを実感しています。



上司や先輩方のご指導の下  
日々成長を実感  
しています！

Question

2

志望動機を教えてください。

私が税務の仕事を目指した理由は、高校時代の担任の先生から税務職員に向いているのではと薦められ、募集案内のパンフレットを見たことがきっかけです。当時の私は、税務職員の仕事について全く知らない状態でしたが、パンフレットや国税庁のホームページを調べるうちに、国税の仕事に興味を持ち始めました。税のスペシャリストとして働くため、多くの知識が必要になりますが、採用直後から約一年間の普通科研修もあり、また、実務経験に応じた研修も受けられるようになっていきます。このように研修体制が充実していることもこの仕事を志望した理由の一つです。



Question

3

研修制度について教えてください。

採用後、税務大学校で税務職員としての心構えや仕事に必要な税法等の法律科目や簿記会計学を一年間学ぶこととなります。初めて学ぶことばかりで戸惑うこともありましたが、同期と助け合うことで、無事研修を修了することができました。また、全寮制での研修となるため、一年間同期と共同生活を行います。寝食を共にするため、学生時代の友人よりも濃い時間を過ごすこととなります。共に過ごした時間は一年間ですが、まるで家族のような関係を築ことができ、税務署に配属された今でも、仕事の相談をしたり、プライベートでも一緒に出かけたりするなど、公私ともにかけがえのない存在になっています。研修時代は、辛いと感じることもありましたが、今ではよい思い出です。



同期は  
公私ともに  
かけがえのない  
存在に  
なっています

Message

就職活動中のみなさんには、先の見えない未来に大きな不安を抱えている方や自分の納得のいく結果が出ずに焦りを感じている方もいることだと思います。就職先は将来に影響するものであるからこそ、みなさんには自分の納得する形で進路を選んでいただければと思います。私としては、みなさんが選んだ先が税務の職場であれば嬉しく思います。みなさんがこの職場を選んで来てくれることを心待ちにしています。就職活動は大変だと思いますが、頑張ってください。